

教育子ども委員会実地視察報告

令和4年7月4日、教育子ども委員会が市立灘さくら支援学校（灘区）及び総合聴覚センター（中央区）を視察しました。

市立灘さくら支援学校は、令和3年4月に開校した知的障害部門（小学部・中学部）と肢体不自由部門（小学部・中学部・高等部）を併置する特別支援学校です。一人一人の障害の特性や発達段階を踏まえ、個別の教育的ニーズに対応した教育を行い、同一敷地内に設置された市立灘の浜小学校の児童と自然な形で交流し、相互理解を深めることができる環境となっています。



中央市民病院内に聴覚障害児支援の中核機能の拠点として整備された「総合聴覚センター」は、専門のコーディネーター（言語聴覚士）を配置し、医療・保健・福祉・教育の関係機関が連携しながら、聴覚障害児とその家族に対して適切な情報と切れ目のない支援を提供する「聴覚障害児支援中核機能モデル事業」を令和4年1月より実施しています。

